

市場予測・将来展望シリーズ ～ Condenser 編

# 2019年版 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望

- エネルギーデバイス ～ コンデンサ市場実態/予測・関連部材/技術・応用製品 -

2018年10月18日刊行予定

Sample

株式会社 日本エコノミックセンター

編集 エネルギーデバイスグループ

Copyright JAPAN ECONOMIC CENTER CO., LTD.

## はじめに

コンデンサは、自動車、スマートフォン、産業機器の三大市場で需要が伸びています。主要コンデンサであるアルミ電解コンデンサをはじめ、積層セラミックコンデンサ(MLCC)、タンタルコンデンサ、フィルムコンデンサ、電気二重層コンデンサはそれぞれに誘電体材料の特徴を生じた新製品開発が活発化、メーカー各社ではグローバル市場で売上拡大を推進しています。JEITAの統計によれば、コンデンサのグローバル出荷額は、年率1桁ながらも着実に伸びており、2015年度には9,066億円に達しました。16年度は中国をはじめ在庫調整などによって設備投資が低調で産業機器向けの需要が減少、8,889億円にとどまりました。17年度はインダストリー4.0をはじめとする新しいモノづくりの構築が世界的に広がり、工作機械、産業ロボット、各種製造装置などの需要が伸び、関連したコンデンサの生産が増加。さらにスマホの新機種生産の立ち上げ、中国メーカーの生産拡大で、極小チップコンデンサの生産規模が拡大。自動車向けも安定した生産台数の伸びに加え、ADASなどの安全系を中心に機能強化、またHVなどの環境対応車の生産台数増加などで、車載用コンデンサの需要が伸びており、グローバル出荷額は9,000億円を突破する見通しです。また、中長期的には高性能コンデンサの需要が増加するものとみられます。このほか、家電分野では省エネ化でインバータの搭載化率が上昇するほか、IoTと関連した通信、センサーなどにかかわる新しい需要が創出されていきます。

本レポートの第Ⅰ章では、コンデンサの世界及び国内市場の動向と展望について、調査および分析を行っています。第Ⅱ章では、コンデンサ別に分類して、各コンデンサ市場や用途別市場の動向や予測などを載せています。第Ⅲ章では、主要なコンデンサ応用市場について動向と市場予測などを載せています。第Ⅳ章では、コンデンサの関連部材について市場推移予測や動向などを掲載しています。第Ⅴ章では、国内外のコンデンサメーカー、の出荷数量・金額の推移予測や事業・生産・販売動向などを掲載しています。

弊社は本年、創業51周年を向かえる市場調査・マーケティング会社です。本レポートは、専門の編集スタッフにより調査・編纂されております。将来展望シリーズは、新規参入を検討してされている企業様を含めた事業計画の立案、予備調査、事業計画書の作成・展開など幅広く活用されています。

本書が、御社の事業戦略の立案及び展開される際にご活用下されば幸いに存じ上げます。

平成30年10月

株式会社 日本エコノミックセンター 市場調査部  
エネルギーデバイスグループ

# ☆☆☆ 目 次 ☆☆☆

## 2019 年版 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望 ～ 将来展望シリーズ

### 序 章 コンデンサ注目市場と生産拠点

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 1. コンデンサと注目市場の将来            | 1 |
| (1) コンデンサの概要と用途             | 1 |
| (2) コンデンサの種類と特性             | 2 |
| (3) 電気自動車市場の動向と将来           | 3 |
| (4) ウェアラブル機器市場の動向と将来        | 6 |
| (5) ヘルスケア市場の動向と将来           | 8 |
| (6) 民生用ドローン市場の動向と将来         | 9 |
| 2. 電子部品メーカーの ASEAN 生産拠点 (表) | 9 |

### 第 I 章 コンデンサ市場の動向と展望

|  |    |
|--|----|
| 1. コンデンサ世界市場の現状と展望                         | 11 |
| (1) コンデンサ世界市場規模と動向                         | 11 |
| (2) コンデンサ市場業界図 (世界・国内)                     | 12 |
| ① コンデンサ世界市場推移・予測 (2007～25 年度)              | 13 |
| ② コンデンサ別世界市場推移・予測 (数量・金額)                  | 15 |
| ③ セラミックコンデンサ世界市場推移予測/シェア                   | 17 |
| ④ 積層セラミックコンデンサ世界市場推移予測/シェア                 | 19 |
| ⑤ アルミ電解コンデンサ世界市場推移予測/シェア                   | 21 |
| ⑥ タンタル電解コンデンサ世界市場推移予測/シェア                  | 23 |
| ⑦ フィルムコンデンサ世界市場推移予測/シェア                    | 25 |
| ⑧ 電気二重層コンデンサ世界市場推移予測/シェア                   | 27 |
| 2. コンデンサ国内市場の現状と展望                         | 29 |
| (1) コンデンサ国内市場規模と動向                         | 29 |
| (2) コンデンサ市場の最新動向                           | 30 |
| ① コンデンサ市場推移・予測 (数量・2007～25 年度)             | 31 |
| ② コンデンサ市場推移・予測 (金額・2007～25 年度)             | 32 |
| (3) コンデンサメーカー別市場動向                         | 33 |
| ① コンデンサ日系メーカーシェア (数量・2017～18 年度)           | 34 |
| ② コンデンサ日系メーカーシェア (金額・2017～18 年度)           | 35 |
| (4) コンデンサ種類別市場概況と動向                        | 36 |
| (アルミ電解/積層セラミック (MLCC) /タンタル電解/導電性高分子/フィルム) |    |
| ① コンデンサ構成比率 (数量・2017～18 年度)                | 38 |
| ② コンデンサ構成比率 (金額・2017～18 年度)                | 38 |
| 3. 弊社実態調査集計資料                              | 40 |

|   |    |
|---|----|
| (1)主要メーカー別販売数量・金額一覧(表・2017～19年度)  | 40 |
| ①主要メーカー別販売数量推移予測(2007～21年度)   | 41 |
| ②主要メーカー別販売金額推移予測(2007～21年度)   | 42 |
| (2)主要メーカーコンデンサ別販売数量・金額一覧(表・2015～19年度)                                       | 43 |
| (3)コンデンサタイプ別弊社集計・分析結果   | 48 |
| ①セラミックコンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)   | 48 |
| ・セラミックコンデンサメーカーシェア  | 49 |
| ②積層セラミックコンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)   | 50 |
| ・積層セラミックコンデンサメーカーシェア  | 51 |
| ③アルミ電解コンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)   | 52 |
| ・アルミ電解コンデンサメーカーシェア  | 53 |
| ④タンタル電解コンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)  | 54 |
| ・タンタル電解コンデンサメーカーシェア   | 55 |
| ⑤導電性高分子電解コンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)  | 56 |
| ・導電性高分子電解コンデンサメーカーシェア   | 58 |
| ⑥フィルムコンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)  | 58 |
| ・フィルムコンデンサメーカーシェア   | 59 |
| ⑦金属化有機フィルムコンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)                                       | 60 |
| ・金属化有機フィルムコンデンサメーカーシェア  | 61 |
| ⑧電気二重層コンデンサ販売数量・金額推移予測(2004～21年度)   | 62 |
| ・電気二重層コンデンサメーカーシェア  | 63 |
| (4)コンデンサタイプ別販売数量・金額推移予測   | 64 |
| ①コンデンサタイプ別販売数量推移予測(2007～2021年度)   | 64 |
| ②コンデンサタイプ別販売金額推移予測(2007～2021年度)   | 65 |
| 4. コンデンサ関連国内統計資料  | 66 |
| (1)コンデンサ国内生産量規模(表・2014～2017年)   | 66 |
| (2)コンデンサ別国内生産量推移表(2001～2018年)   | 67 |
| (アルミ電解/タンタル電解/セラミック/有機フィルム/金属化有機フィルム 各コンデンサ/コンデンサタイプ別生産量・高 推移表)             |    |
| (3)コンデンサ輸出・輸入量規模(表・2014～17年)  | 74 |
| (4)コンデンサ別輸出・輸入量推移表(2001～18年)  | 75 |
| (アルミ電解/タンタル電解/セラミック/紙&プラスチック/その他固定式/可変式 各コンデンサ/コンデンサ別輸出単価推移表/コンデンサ別輸入単価推移表) |    |

## 第Ⅱ章 コンデンサ別の市場動向と展望

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 1. 積層セラミックコンデンサの動向と展望             | 89 |
| (1)積層セラミックコンデンサの概要と動向             | 89 |
| (2)積層セラミックコンデンサの大容量化と用途拡大         | 90 |
| (3)サイズ別世界市場推移予測/構成比率推移(2008～25年度) | 91 |

|   |     |
|---|-----|
| (4)用途別世界市場推移・予測（2008～25年度）数量・金額           | 93  |
| (5)さらなる小型化や高密度実装化に貢献するチップ型                | 94  |
| (6)積層セラミックコンデンサの動的モデルと進化                  | 95  |
| 2. 電解コンデンサの動向と展望                          | 96  |
| (1)電解コンデンサの概要と動向                          | 96  |
| (2)電解コンデンサタイプ別世界市場推移・予測（～2025年度）          | 98  |
| (3)電解コンデンサ別世界市場メーカーシェア（チップ型・小型・大型）        | 100 |
| (4)電解コンデンサ用途別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）     | 103 |
| (5)導電性高分子コンデンサタイプ市場推移予測（～2025年度）          | 104 |
| (6)導電性高分子コンデンサメーカーシェア（アルミ電解・タンタル電解）       | 106 |
| (7)150°C対応チップ形アルイ電解コンデンサ                  | 108 |
| (8)車載用アルミ電解コンデンサ耐振動構造品                    | 109 |
| 3. 電気二重層コンデンサの動向と展望                       | 110 |
| (1)電気二重層コンデンサの概要と動向                       | 110 |
| (2)電気二重層コンデンサの技術動向                        | 111 |
| (3)電気二重層コンデンサとIoT機器の電源                    | 112 |
| (4)電気二重層コンデンサタイプ別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度） | 114 |
| (5)電気二重層コンデンサ用途別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）  | 115 |
| 4. タンタルコンデンサの動向と展望                        | 116 |
| (1)タンタルコンデンサの概要と技術動向                      | 116 |
| (2)タンタルコンデンサタイプ別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）  | 117 |
| (3)タンタルコンデンサ用途別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）   | 119 |
| 5. フィルムコンデンサの動向と展望                        | 120 |
| (1)フィルムコンデンサの概要と動向                        | 120 |
| (2)フィルムコンデンサの技術動向                         | 121 |
| (3)フィルムコンデンサタイプ別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）  | 122 |
| (4)フィルムコンデンサ用途別世界市場推移予測／構成比率推移（～2025年度）   | 124 |

### 第三章 コンデンサ関連市場の動向と展望

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| 1. コンデンサ関連市場の最新動向                     | 125 |
| (1)コンデンサ関連市場概況と動向                     | 125 |
| (2)コンデンサ関連世界市場推移予測／構成比率推移（2007～25年度）  | 126 |
| (3)関連市場別コンデンサ市場推移予測／構成比率推移（2007～25年度） | 127 |
| 2. コンデンサ関連市場の動向と展望（2007～25年度）         | 128 |
| (1)スマートフォン市場の動向と展望                    | 128 |
| ・スマートフォン世界・国内市場推移予測／シェア               | 129 |
| (2)携帯電話市場の動向と展望                       | 131 |
| (3)タブレット端末市場の動向と展望                    | 132 |
| ・タブレット端末世界・国内市場推移予測／シェア               | 133 |

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| (4) ノートブック市場の動向と展望           | 135 |
| ・ノートブック世界・国内市場推移予測／シェア       | 136 |
| (5) パソコン市場の動向と展望             | 138 |
| ・パソコン世界・国内市場推移予測／シェア         | 139 |
| (6) 薄型テレビ市場の動向と展望            | 141 |
| ・薄型テレビ世界・国内市場推移予測／シェア        | 142 |
| (7) デジタルカメラ市場の動向と展望          | 144 |
| (8) 自動車（四輪車）市場の動向と展望         | 145 |
| ・自動車世界・国内市場推移予測／シェア          | 146 |
| (9) カーナビゲーション市場の動向と展望        | 148 |
| ・カーナビゲーション世界・国内市場推移予測／シェア    | 149 |
| (10) 太陽光発電用パワーコンディショナーの動向と展望 | 151 |
| ・パワーコンディショナー市場推移予測／シェア       | 152 |
| (11) LED 照明市場の動向と展望          | 153 |
| ・LED 照明世界・国内市場推移予測／シェア       | 154 |

#### 第IV章 コンデンサ関連部材市場の動向と展望

|  |     |
|--|-----|
| 1. コンデンサ別関連部材の概要と動向                      | 155 |
| （アルミ電解／積層セラミック／タンタル電解／フィルム／電気二重層 各コンデンサ） |     |
| 2. セラミックコンデンサ関連部材の動向と展望                  | 157 |
| (1) 酸化チタン (TiO <sub>2</sub> ) の市場概況と動向   | 157 |
| ①酸化チタン国内市場の動向と展望                         | 157 |
| ②酸化チタン世界市場の動向と展望                         | 158 |
| (2) 酸化チタンメーカー別生産能力（表）                    | 159 |
| ①コンデンサ用酸化チタン国内出荷量推移予測（2001～25年度）         | 160 |
| ②酸化チタン出荷量世界／国内メーカーシェア（2017年度）            | 161 |
| ③チタン酸バリウム国内メーカーシェア（2017年度）               | 161 |
| (3) 炭酸バリウム (BaCO <sub>3</sub> ) の市場概況と動向 | 162 |
| .....                                    |     |
| ①コンデンサ用炭酸バリウム国内出荷量推移予測（2001～25年度）        | 164 |
| ②炭酸バリウム国内生産量・輸入量推移表（2003～25年度）           | 164 |
| 3. アルミ電解コンデンサ関連部材の動向と展望                  | 165 |
| (1) アルミ箔 (Al) の市場概況と動向                   | 165 |
| ①コンデンサ用アルミ箔国内出荷量推移予測（2001～25年度）          | 166 |
| ②コンデンサ用アルミ箔メーカーシェア（2017年度）               | 166 |
| ③コンデンサ用アルミ箔主要メーカー出荷金額推移予測（2007～21年度）     | 167 |
| 4. タンタルコンデンサ関連部材の動向と展望                   | 168 |
| (1) タンタル (Ta) の市場概況と動向                   | 168 |
| ①コンデンサ用タンタル国内出荷量推移予測（2001～25年）           | 169 |
| ②コンデンサ用タンタル国内需給量推移表（2003～25年）            | 169 |

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 5. 電気二重層コンデンサ関連部材の動向と展望           | 170 |
| (1) 電気二重層コンデンサ部材の市場概況 (2007~25年度) | 170 |
| ① 電気二重層コンデンサ電極材世界市場推移予測/シェア       | 171 |
| ② 電気二重層コンデンサ電解液世界市場推移予測/シェア       | 172 |
| ③ 電気二重層コンデンサセパレータ世界市場予測/シェア       | 172 |
| 6. 有力材料メーカー・研究機関の動向               | 174 |

## 第V章 コンデンサメーカーの動向と展望

|  |     |
|--|-----|
| 1. 国内コンデンサメーカーの動向と展望 (2017~21年度)             | 175 |
| (1) エルナー 株式会社                                | 175 |
| (2) 岡谷電機産業 株式会社                              | 177 |
| (3) 京セラ 株式会社                                 | 179 |
| (4) サン電子工業 株式会社                              | 181 |
| (5) 株式会社 指月電機製作所                             | 182 |
| (6) 神栄キャパシタ 株式会社                             | 184 |
| (7) 双信電機 株式会社                                | 185 |
| (8) 株式会社 タイツウ                                | 187 |
| (9) 太陽誘電 株式会社                                | 188 |
| (10) TDK 株式会社                                | 190 |
| (11) 株式会社 トーキン                               | 192 |
| (12) 東信工業 株式会社                               | 193 |
| (13) ニチコン 株式会社                               | 194 |
| (14) 日精電機 株式会社                               | 199 |
| (15) 日通工エレクトロニクス 株式会社                        | 200 |
| (16) 日本ケミコン 株式会社                             | 201 |
| (17) パナソニック株式会社 AIS 社                        | 205 |
| (18) 日立化成 株式会社                               | 207 |
| (19) 松尾電機 株式会社                               | 208 |
| (20) 株式会社 MARUWA                             | 210 |
| (21) 株式会社 村田製作所                              | 211 |
| (22) ルビコン 株式会社                               | 214 |
| (23) ローム 株式会社                                | 215 |
| 2. 海外コンデンサメーカーの動向と展望                         | 216 |
| (1) AVX Corporation (米国)                     | 217 |
| (2) Vishay Intertechnology, Inc. (米国)        | 218 |
| (3) SAMSUNG ELECTRO-MECHANICS CO., LTD. (韓国) | 219 |
| 3. コンデンサメーカーの戦略 (表)                          | 220 |

## 序章 コンデンサ注目市場と生産拠点（サンプル）

### 1. コンデンサ注目市場の動向と展望

#### (1) コンデンサの概要と用途

##### ① コンデンサの概要

コンデンサ（蓄電器、condensare、英: capacitor）とは、静電容量（キャパシタンス）により電荷（電気エネルギー）を蓄えたり、放出したりする受動素子である。

静電容量の単位はF（ファラド）が使用される。通常使用できるコンデンサは数pF～数万 $\mu$ F程度であるが、電気二重層コンデンサなどでは数千Fオーバの大容量な物もある。両端の端子に印加できる電圧（耐圧）は、2.5V～10kVまでさまざまである。

コンデンサは誘電体によって分離された2枚の電極もしくは電極板によって構成される。

##### ② コンデンサの用途例

###### ・アナログ電子回路での用途

直流の電流を通さないことからカップリング（結合）コンデンサに利用されたり、デカップリング（分離）用のコンデンサに利用される。その他、平滑回路や共振回路、フィルタなどにも利用される。実際の電子回路では抵抗器やコイルとともに用いられる。

###### ・デジタル電子回路での用途

バイパスコンデンサ（パスコン）としての用途が多い。他に水晶発信器やタイミング回路に使用される。主に周波数特性がよいチップセラミックコンデンサが使われる。

###### ・電源回路での用途

アルミ電解コンデンサを中心として、セラミックコンデンサやタンタルコンデンサが使用される。

###### ・電源そのものとしての用途

下記の電気二重層コンデンサをはじめとした1F以上の大容量のものが開発され、蓄電装置として利用されることが多くなりつつある。例えば、ノートパソコンとしての利用、ハイブリッドカーや電気自動車の始動用電源など、電気自動車の走行用電源そのものとしても使用可能となっている。

##### ③ コンデンサの用途による分類

###### ○高電圧電力回路用

- ・紙コンデンサ、オイルコンデンサ、真空コンデンサ、ガス封入コンデンサ

###### ○電子回路用（本書では電子回路用を取り扱う）

- ・プラスチックコンデンサ アナログ回路用
- ・セラミックコンデンサ 0.5pF～1 $\mu$ Fが一般的
- ・マイカコンデンサ 高周波回路、高精度・安定性が要求される回路向け
- ・アルミ電解コンデンサ 大容量が得られ電源回路の平滑用などに使用される
- ・タンタル電解コンデンサ 周波数特性が良く電源扉活用やノイズ除去など
- ・電気二重層コンデンサ バックアップ電源として利用されてきたが、電力貯蔵用などにも使用され始めている。



## 第V章 コンデンサメーカーの動向と展望（個票）

### 1. 国内コンデンサメーカーの動向と展望

| 〇〇〇〇 株式会社 |  |
|-----------|--|
| 本社        |  |
| 会社概要      |  |
| 生産拠点      |  |
| 《国内》      |  |
| 《海外》      |  |
| 担当/販売     |  |

#### 《販売数量・金額》

|             | 販 売 実 績      |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
|             | 数 量<br>(百万個) | 対前年比<br>(%) | 金 額<br>(百万円) | 対前年比<br>(%) |
| 2015 年度(実績) |              |             |              |             |
| 2016 年度(実績) |              |             |              |             |
| 2017 年度(実績) |              |             |              |             |
| 2018 年度(見込) |              |             |              |             |
| 2019 年度(予想) |              |             |              |             |
| 2020 年度(予想) |              |             |              |             |

#### 《分類別販売数量・金額》

(単位:百万個/百万円)

|                                 |           | 2017 年度 |    | 2018 年度(見込) |    | 2019 年度(予想) |    |
|---------------------------------|-----------|---------|----|-------------|----|-------------|----|
|                                 |           | 数量      | 金額 | 数量          | 金額 | 数量          | 金額 |
| 固<br>定<br>コ<br>ン<br>デ<br>ン<br>サ | アルミ電解     |         |    |             |    |             |    |
|                                 | 導電性高分子    |         |    |             |    |             |    |
|                                 | タンタル電解    |         |    |             |    |             |    |
|                                 | 導電性高分子    |         |    |             |    |             |    |
|                                 | 金属化有機フィルム |         |    |             |    |             |    |
|                                 | 有機フィルム    |         |    |             |    |             |    |
|                                 | セラミック     |         |    |             |    |             |    |
|                                 | マイカ       |         |    |             |    |             |    |
|                                 | 電気二重層     |         |    |             |    |             |    |
| 可<br>変                          | トリマ       |         |    |             |    |             |    |
|                                 | その他可変     |         |    |             |    |             |    |

※ 日本エコノミックセンター推定を含む

2019 年版  
コンデンサ市場・部材の実態と将来展望

発行: 2018年10月19日 第1版  
定価: 本体価格 70,000 円+消費税  
発行人: 石澤 宜之  
編集: 株式会社 日本エコノミックセンター 市場調査部  
発行所: 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-11-5 3F  
株式会社 日本エコノミックセンター  
JAPAN ECONOMIC CENTER CO., LTD.  
TEL :03-3808-0611(代)  
FAX:03-3808-0617  
URL:<http://www.j-economic.co.jp>  
E-mail:[mail@j-economic.co.jp](mailto:mail@j-economic.co.jp)

- 《禁無断コピー・転載》 万一、乱丁や落丁の場合はお取り替え致します。

Copyright (C) 2018 Japan Economic Center, Co., LTD.

Printed in Japan 2018

ISBN978-4-907908-80-5 C3060 ¥70000E

## △▼△▼ 主要調査レポートご案内(最新版) ▼▲▼▲

～ 市場予測・将来展望シリーズ - 創エネ・蓄エネ・省エネ関連 ～ 好評発売中!

※ 価格は、すべて税抜きです。

|   |  |
|---|--|
| 新刊 2019 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望<br>～ コンデンサ市場実態/予測・関連部材・応用製品  | B5判・CD-ROM 220頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年10月刊 |
| 2018 スマートグリッド市場の実態と将来展望<br>～ 再生可能エネルギーと大型蓄電池・仮想発電所      | B5判・CD-ROM 210頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年9月刊  |
| 2018 リチウムイオン電池市場の実態と将来展望<br>～ 次世代リチウムイオン電池市場予測・部材/技術    | B5判・CD-ROM 210頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年8月刊  |
| 2018 ZEH市場・関連機器の実態と将来展望<br>～ ZEH・HEMS市場実態/予測・関連技術/機器    | B5判・CD-ROM 200頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年7月刊  |
| 2018 EMC・ノイズ対策市場の実態と将来展望<br>～ EMCノイズ対策市場実態/予測・技術・応用製品   | B5判・CD-ROM 200頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年6月刊  |
| 2018 電子部品・デバイス市場の実態と将来展望<br>～ コンデンサ・キャパシタ・EMC対策市場実態予測   | B5判・CD-ROM 220頁<br>¥70,000～¥10,000<br>2018年5月刊   |
| 2018 蓄電池・キャパシタ市場の実態と将来展望<br>～ 全固体電池と蓄電デバイス(蓄電池・キャパシタ)   | B5判・CD-ROM 200頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年4月刊  |
| 2018 スマートエネルギー市場の実態と将来展望<br>～ 太陽光・風力・燃料電池・バイオマス・地熱・水力   | B5判・CD-ROM 250頁<br>¥75,000～¥110,000<br>2018年3月刊  |
| 2018 二次電池市場・技術の実態と将来展望<br>～ 次世代電池・二次電池市場実態/予測・関連部材      | B5判・CD-ROM 210頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年2月刊  |
| 2018 太陽光発電市場・技術の実態と将来展望<br>～ 地産地消・太陽光発電市場実態/予測・関連部材     | B5判・CD-ROM 210頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2018年1月刊  |
| 2018 次世代自動車市場・技術の実態と将来展望<br>～ 次世代自動車・環境対応車市場予測・インフラ     | B5判・CD-ROM 220頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2017年12月刊 |
| 2018 燃料電池市場・技術の実態と将来展望<br>～ 燃料電池市場予測・燃料電池車・関連部材/技術      | B5判・CD-ROM 210頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2017年11月刊 |
| 2017 スマートコミュニティ市場の実態と将来展望<br>～ スマートコミュニティ市場予測・関連市場/関連技術 | B5判・CD-ROM 200頁<br>¥70,000～¥110,000<br>2017年7月刊  |

各調査レポートのお問い合わせ・お申し込みは

創業 51 周年 (Since 1966)

事業構想・企画・市場調査・出版

株式会社 日本エコノミックセンター

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番5号 日本橋吉泉ビル 3F

Tel: 03-3808-0611 / Fax: 03-3808-0617

www.j-economic.co.jp / mail@j-economic.co.jp

# 新刊 2019 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望（第一版）

～ コンデンサ市場実態/予測・関連技術/部材・応用製品 ～

FAX 購入申込書

申込日：201 年 月 日

※ 以下の定価はすべて税抜き価格で、別途消費税が加算されます。

購入される商品の口にチェックして下さい

- B5 判+CD タイプ(PDF ファイル) 定価:90,000 円
- プレミアム CD(PDF+Excel ファイル) 定価:90,000 円
- B5 判 210 頁 定価:70,000 円
- CD タイプ 定価:70,000 円
- B5 判+プレミアム CD 定価:110,000 円

※ 上記以外に、A4 タイプ、章単位 CD などニーズに対応した商品を提供しております

★ 表紙・目次(PDF)は、HP <http://www.j-economic.co.jp> でご確認ください

— お問い合わせ、お申し込みは、Tel (03-3808-0611) / Fax (03-3808-0617) まで

※ 下記の担当部署までお気軽に連絡して下さい。(平日:9:15 ~ 16:45)

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 御社名 |   | TEL : |
| 所在地 | 〒 | FAX : |
| 部署名 |   | 御名前   |
| 御役職 |   |       |
| 通信欄 |   | Mail  |

※ ご請求書は、資料発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報は、新刊案内（メール含む）のご案内をさせて頂く場合がございます。お客様の個人情報を第三者に提供する事はございません。ご注文は弊社 HP から注文できます。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-11-5 日本橋吉泉ビル 3F

株式会社 日本エコノミックセンター 開発部 / 調査部